

「沼のほとり」

NPO 法人手賀沼トラスト会報 第 35 号 (発行日:平成 26 年 7 月 1 日)

田植え (5月17日)

五月晴れ、田の面を吹き抜ける風が心地よい。

117 人 (大人 95 人、子供 22 人) もの参加者がリーダーのかげ声にあわせて苗を植える。かすりの着物にたすき掛けとはいかないが、日本の原風景を見る思いだ。

いつもはジイジとバアバばかりの田んぼに、子供たちの華やかな笑い声が響きわたる。子供たちは顔まで泥まみれ。蛙を追いかけまわす子もいる。この子たちに緑したたる里山を！ ジイジとバアバは頑張るぞ！

2014年(平成26年)5月18日 日曜日 享月 日 薬斤 辰巳

100人、泥んこになり田植え

我孫子の「冬水田んぼ」



我孫子市のNPO法人「手賀沼トラスト」が続けて「冬水田んぼ」で17日、田植えがあり、メンバーを中心に約100人が参加した。冬水田んぼは毎年12月から不耕起水田に井戸の水を張り、微生物などの繁殖を促して有機・無農薬で稲を育てる。野鳥や昆虫、水生生物など生物多様性に富む環境作りを目指す。10年ほど前から約10町の休耕田を借りて取り組んでいる。この日植えたのはコシヒカリやもち米など4種類。子どもたちも十数人が加わり、泥だらけになりながら1株ずつの苗を丁寧に植えた。坂巻晴花さん(10)と石川歩佳さん(10)はともに市立我孫子第三小学校の5年生。「水が冷たかったけど楽しかった」と声をそらせた。

採蜜 (5月31日)

厳しい冬を乗り切ったトラストの2群の蜂。あわせて6群の分家を出してなお強大な勢力を維持している。そこで、谷口リーダーは採蜜を決意。

享月 日 薬斤 辰巳 2014年(平成26年)6月3日 火曜日

野生のハチから採蜜

濃厚な香りいっぱい

我孫子のNPO「手賀沼トラスト」



我孫子市で環境保全活動をつづけるNPO法人「手賀沼トラスト」が、野生のニホンミツバチで養蜂事業に取り組んでいる。5月31日には、巣箱を置いてある地元の横戸城跡で採蜜作業をへらで切り離すと、巣箱には

は黄金色の蜜がびっしりと付き、枠からあふれ出た。巣箱ごとなめるご独特の濃厚な香りが口にあがり、メンバーは「うわー、甘い」と大喜び。富澤さん(86)の発案で4年前、養蜂部会(30人)を設けた。城跡近くの畑を借りて「蜜源」となる菜の花やソバを植える一方、新しい巣の場所を求めて飛び出した「分蜂」群を捕獲。今年是最も多い群を確保した。巣箱は30センチ四方の重箱式木枠を数段重ねて底板と天井板をつけ、1万1千匹のミツバチを飼う。今回の採蜜作業は蜂を巣をたくさんためた一つの巣箱であり、約20人が参加。メンバーらが最上段を

採蜜作業は秋にもある。トラストは蜂蜜のほか、搾りかすの巣板を煮て作る蜜燻をメンバーに販売。中でも、ホバオイルを混ぜて溶かしたハンドクリームは「肌がいい」と女性メンバーに大人気だという。

この日、谷口リーダーは採蜜を決意。新聞が取材に来ることもあって 20 人の部員が集まった。採蜜と蜜蝋クリームの実演を披露する。この日のために入念に化粧してきた女性部員、おすまして写真におさまったが、掲載されたのは我らがリーダー谷口氏。やっぱり一番写真写りがいいのは谷口さん？

5月、6月の活動報告

5月は天候に恵まれ田植えも順調におこなわれた。「今年はツイている」と思ったのがいけませんでした。まさに好事魔多し。下旬から大雨つづき。増水した田圃では浮草が赤い絨毯のように苗を覆ってしまう。浮草の除去に四苦八苦しているうちに、サトイモもラッカセイも雑草の下に隠れて見えなくなってしまう。何とかサトイモとラッカセイは救出したが、6月は雨つづき。楽しみにしていたカレーパーティーは延期。結局、6月は1回しか農教室はできませんでした。

5	2	金	事務局	2名	会報配信、発送	
	3	土	合同活動	55名	稲プール設営、スイカ植付け、暗渠清掃、田圃管理	日暮会場
	4	日	定例活動	6名	清掃、蓮田除草、ミカン山除草、ミツバチ管理	日暮会場
	5	月	農地保全	6名	船戸圃場 トラクター耕耘、除草	船戸圃場
	10	土	合同活動	56名	田植え準備、ラッカセイ播種	日暮会場
	10	土	事務局	6名	総会資料発送、第1回事務局会議	日暮会場
	17	土	合同活動	117名	田植え、早苗餐(さなぶり)	日暮会場
	19	月	農地保全	6名	船戸圃場 施肥、トラクター耕耘、除草	船戸圃場
	22	木	環境保全		竹教室(9時)、竹教室入門コース(13時)	日暮会場
	23	金	農地保全	5名	船戸圃場 播種準備、迷路レイアウト	船戸圃場
	24	土	農教室	44名	田圃浮草取り、ネギ・ジャガイモ管理	日暮会場
	25	日	農地保全	9名	船戸圃場 ヒマワリ播種、防鳥ネット張り	船戸圃場
	25	日	交流事業	6名	柏市民活動フェスタ	柏駅南口
	31	土	交流・農	40名	トラストサロン「地油とクルベジ」(杉野講師)、田圃管理	日暮会場
6	1	日	総会	46名	平成26年度通常総会、懇親会	けやき9階
	11	火	事務局	1名	「NPO必須の事務」集中講座	千葉市
	14	土	農教室	60名	サツマイモ植付け、圃場除草、田圃除草	日暮会場
	15	日	定例活動	26名	ヒマワリ管理、除草	日暮会場
	16	月	農地保全	15名	船戸圃場 ヒマワリ間引き、迷路作成	船戸圃場
	19	木	農地保全	1名	船戸圃場 土寄せ、通路のロータリーかけ	船戸圃場
	21	土	農地保全	6名	船戸圃場 追肥	船戸圃場
	26	木	環境保全		竹教室(9時)、竹教室入門コース(13時)	日暮会場
	29	日	特別コース		圃場管理、講話など	特別コース圃場
	29	日	会議	6名	第6回組織制度等検討ワーキンググループ会議	けやき10階
	29	日	理事会	11名	平成26年度第2回定例理事会	けやき10階

平成26年度通常総会のご報告

平成26年度通常総会が13時15分からけやき9階ホールで開催された。

議決権を有する正会員104名(定足数:53名)のうち46名の方が出席、58名の方が委任状を提出し総会は定足数を充たし成立した。第1号議案から第8号議案まで審議がおこなわれ、全ての議案が全会一致で承認された。

また、今年度から顧問に就任された小松崎将一茨城大教授が紹介され、挨拶をされた。

引続き15時過ぎから、原田さんの司会で懇親会が行われた。

交流事業グループの女性会員の皆さんが作ってくれたご馳走と差し入れのお酒で盛り上がった懇親会。新入会員のスピーチにつづき、恒例の遠田さんの歌も披露され、16時20分、手賀沼トラストの益々の発展を願って3本締めで懇親会を終了した。

7月、8月の予定

7、8月はイベントが盛りだくさん。鬱陶しい梅雨もあけて、青空のもとで楽しみたいものです。蓮田の花はもう咲いています。7月中が見頃です。すくすくと育っているヒマワリの迷路イベントは7月24日から27日まで。かかし作りは一般参加者が7月19日。トラスト会員は7月26日に作ります。かかしのコンテストを行うかかし祭りは8月23日です。

大森さんが手塩に掛けているスイカ、中澤さんの魅惑のコーンの収穫も迫ってきました。どうぞお楽しみに！

手賀沼流域フォーラムのパンフレットから

かかしを作ろう！

思い思いのかかしを作り、7月26日(土)田んぼに設置します。かかしまつりでコンテスト、入賞者には賞品をプレゼント！冬水田んぼの生き物観察もします。

①かかし作り体験 **7月19日(土)**9時～12時
②かかしまつり **8月23日(土)**9時～12時
※7月26日も雨天の場合は翌日に顺延

場所 手賀沼トラスト集会所 (茨城県船戸1349)・田んぼ
募集 ①先着8組(1組4名まで) ②先着50名
企画 NPO法人手賀沼トラスト
申込み&問い合わせ TEL/FAX 7115-1109(留守)
E-MAIL: takashi@umiko@svcbizbox.nc.jp

アビシルベのパンフレットから

根戸新田の花ハスが見頃

花弁が多くめでやかな赤が特徴のハスです。約600個の田んぼにNPO法人「手賀沼トラスト」が栽培。毎年7月下旬見頃を迎えます。一番美しく見頃になった田んぼを案内します。

7 我孫子市根戸新田の田んぼ ※現地には駐車場はありません。手賀沼ふれあいライン沿い(あびこ農産物直売所あびこから約4km 先の右手)

ひまわり「迷路とクイズに挑戦！」
ひまわりの迷路を回りながらクイズに答え、プレゼントをゲットしよう！ ●費用：無料

7/24(木)～7/27(日)
10:00～16:00

所 我孫子市根戸新田字船戸(ハス出の道路挟んで向かい側)

8 NPO 法人手賀沼トラスト事務局 Tel. 04-7115-1109 (堂澤さん)

7	5	土	8:30	農教室	ジャガイモ収穫、圃場管理、カレーパーティー	日暮会場
	5	土	13:00	特別コース	圃場管理、講話など	特別コース圃場
	6	日	8:30	定例活動	清掃、城址管理、ミカン山全体草刈り、ミツバチ管理	日暮会場
	12	土	8:30	農教室	田圃施肥・ネギ定植、圃場管理	日暮会場
	19	土	9:00	イベント	かかし作り(一般)	日暮会場
	20	日	8:30	定例活動	清掃、城址管理、ミカン山管理、ミツバチ管理	日暮会場
	21	月	8:30	特別コース	茨城大学農学部見学会	日暮会場集合
	22, 23		8:30	環境保全	船戸圃場 イベント準備	船戸圃場
	24	木	9:00	環境保全	竹教室(9時)、竹教室入門コース(13時)	日暮会場
	24~27		10:00	イベント	「ヒマワリ迷路とクイズに挑戦」 会場準備8:30~	船戸圃場
	26	土	8:30	合同活動	かかし作り(会員)、スイカ・トウモロコシ収穫	日暮会場
	27	日	9:00	特別コース	圃場管理、講話など	特別コース圃場
	28	月	8:30	農地保全	船戸圃場 後片付け	船戸圃場
	28	日	18:00	理事会	平成26年度第3回定例理事会	けやき10階
8	3	日	8:30	定例活動	清掃、城址管理、ミカン山管理、ミツバチ管理	日暮会場
	9	土	8:30	農教室	スイカ収穫、圃場管理、田圃除草	日暮会場
	10	日	15:30	会議	第7回組織制度等検討ワーキンググループ会議	けやき10階
	17	日	8:30	定例活動	清掃、城址管理、ミカン山管理、ミツバチ管理	日暮会場
	23	土	8:30	イベント	かかし祭り、ハザ作り	日暮会場
	8/24~9/7			農地保全	ヒマワリ種採取、乾燥	船戸圃場
	28	木	9:00	環境保全	竹教室(9時)、竹教室入門コース(13時)	日暮会場
	30	土	8:30	合同作業	そば播種、カボチャ収穫	日暮会場
	31	日	9:00	特別コース	圃場管理、講話など	特別コース圃場
	31	日	18:00	理事会	平成26年度第4回定例理事会	けやき10階



ソムリエニュース3

ジャガイモがヨーロッパ人を救った？

ジャガイモの原産地は南米アンデス山脈の世界 1 高い湖、チチカカ湖周辺です。この地は南緯 15 度、標高 4000m です。このためジャガイモは冷涼で乾燥した気候を好みます。

スペイン人のインカ帝国征服後、ヨーロッパにジャガイモが持ち込まれました。冷涼で、地力の少ない北欧でも収穫できます。それまでは小麦、ライ麦が主食で、冷害などにより、十分な収穫ができず、人口は増えませんでした。ジャガイモが食料難を救い、急激に人口が増えたといわれています。日本のさつまいもに似ています。



また多く含まれているビタミン C は加熱による減少が少ないため、冬場の野菜不足による壊血病の予防にもなりました。日本で北海道の生産量が多いのも原産地の気候に似ているからです。本州では真夏の高温多湿で枯れてしまい、生産性は上がりません。ジャガイモは主成分は澱粉ですが、ビタミン C の他、B1 やカリウム、食物繊維なども多く含んでいます。特にカリウムは食塩の取りすぎによる、血圧の上昇を防ぎますので、高血圧の方には食べて欲しい野菜です。

澱粉は経時により糖に変化します。良い例はバナナです。ポテトチップスは一年中同じ色が求められます。糖が多いと焦げやすく、茶色になりますので、糖の少ないトヨシロやキタヒメが使われますが、経時による糖への変化を防ぐため収穫後すぐに、暗い冷蔵庫に保管されます。

なおジャガイモの発芽を防ぐにはりんごと一緒に保管すると良いそうです。

2014/3/23

ジュニア野菜ソムリエ

原 記

発行責任者 遠藤織太郎 (TEL : 04-7182-0387) 編集責任者 富沢 崇 (TEL : 04-7115-1109)

事務所 : 我孫子市白山二丁目 13 番 5 号

e - mail : info@teganuma-trust.jp

ホームページ : <http://teganuma-trust.jp/>